

CASBEE® 名古屋

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-運用評価2019年版、名古屋中規模建物環境性能評価マニュアル2016 使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)アルビス中村店新築工事	階数	地上1F
建設地	名古屋市中村区二瀬町26番3一部、26番4、26番5	構造	S造
用途地域	第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	200人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	
竣工年	2021年6月 予定	評価の実施日	2020年12月11日
敷地面積	6,175 m ²	作成者	
建築面積	3,020 m ²	確認日	2020年12月11日
延床面積	2,879 m ²	確認者	



図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>= BEE1.0 ★★★★★★☆☆☆☆</p> <p>★:S:★★★★★ A:★★★★★ B+:★★★★ B:★★★ C</p>	<p>☆☆☆☆ 100%超 ☆☆☆ 100% ☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 60%:30%</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100% ②建築物の取組み 72% ③上記+②以外の 72% ④上記+ 72%</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア= 2.7</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.9</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.1</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.1</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.3</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.6</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.0</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.3</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合 施設利用者が快適に過ごせるよう室内環境やサービス性能の向上に努め、LED照明や節水コマ等の採用により省エネルギーについても考慮し計画をした</p>	<p>その他 特になし</p>	
<p>Q1 室内環境 建築基準法を満たし、かつ建築基準法規制対象外の建築材料をほぼ全面に使用する</p>	<p>Q2 サービス性能 天井高や階高を余裕をもった高さとし、空間にゆとりを持たせた</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) 特になし</p>
<p>LR1 エネルギー B E I m0.69</p>	<p>LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上げ材が容易に分別可能であり解体時のリサイクル促進に寄与している</p>	<p>LR3 敷地外環境 特になし</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート

(仮称)アルビス中村店新築工事

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル:

■評価ソフト:

CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する重み係数	重点項目スコア
1. 温暖化対策				3.7
LR1	エネルギー	3.7	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	4.1	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.05	
2. 自然共生				1.3
Q3.1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地域性のある材料の使用※1	無	0.009
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	2.0	0.045	
3. 循環型社会				3.0
LR2.1	水資源保護	3.0	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	3.1	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	2.7	0.01875	

結果

1. 温暖化対策	評価点 = 3.7	
2. 自然共生	評価点 = 1.3	
3. 循環型社会	評価点 = 3.0	

重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。